



「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取組や様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取組にご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わってくださいますよう、よろしくお願いします。

小川幼稚園

平成19年度、幼稚園では四季折々の自然の中で、友だちと仲良く遊び、明るく自分からやってみようとする

子ども、あいさつのできる子どもを目指してきました。春や夏には、小川を探検したり、広々とした運動場で赤とんぼやたこを追いかけてたりして元気一杯の1年でした。小学生の姿を見て、「ぼくも早くあんなになりたい。」と刺激を受けて、一輪車や縄跳び、ランニングに挑戦し、「できたー。」と達成感に浸る姿も見られました。育てた野菜は時々、学校給食にも出ました。

また地域の方を先生に招き、親子工作や昔話などを教えていただきました。水鉄砲や竹馬づくりを通して、遊び道具を自分で作る楽しさや既製品と違った遊びの楽しさを体験しました。小川の昔話に聞き入り、木の実や葉っぱの遊びに興じていました。「小川読み聞かせボランティア」の方々にも月1回、楽しい本を読んでいただきました。

6名の男の子たちは、地域の方々に見守られながら、この1年で心身ともに大きく大きく育ちました。



小川小学校

小川小学校は、平成19年度、「生きる力に充ちた小川っ子の育成」を目指し、

①基礎・基本の確かな定着

②豊かな体験学習 ③体力づくり に取り組んできました。32名のどの子ども主人公となり生き生きと輝くことができました。

【基礎・基本の確かな定着】

- ・ **チャレンジ学習**…週4回、1時間目を15分ずつに区切り、計算や漢字、音読の学習を行いました。基礎的な学力と同時に集中力も定着してきました。
- ・ **小川式漢字検定**…2年生以上は1年生からの漢字を検定式に実施しています。1年生は3学期から実施しており、新しく出た漢字は、2学期中に学習し、後は繰り返し学習としています。既に習った漢字を使うことが課題として残っています。
- ・ **小川ちゃんスクール**…全校縦割り班に分かれて、各個人の算数の課題を学習します。上級生が、困っている下級生に教えることにより、上級生にとっては復習になり、自己有用感^(※)も育っています。下級生は、改めて上級生のすごさを感じ、子どもたちにとっては心育ちの時間にもなっています。
- ・ **日記集会、発表集会**…授業で培った力を全体の場で発表し学び合う時間と位置づけています。
- ・ **読書指導**…朝読書や「ボランティアによる読み聞かせ」等を通して本好きな子を育てるようにしました。

(※)自己有用感 自分自身のよさを認め、自分を肯定的に受け止めることができる存在感。

【豊かな体験学習】 教科で学習したことを、体験を通して活用しさらに確かなものにしたり、体験で得たものを教科の学習でより深くするための体験活動に取り組んできました。新聞記者の方の話を聞いたり、米づくりを地域の方に教えていただいたりして、普段あまり経験できないことを全校で取り組みました。

【体力づくり】 学力の土台である「健康なからだ」づくりへの取組を家庭と連携しながら取り組んできました。長い休みを活用しての3分間ランニングは天候が許す限り行ってきました。また、休み時間ごとでみんな一緒に外で遊んでいる姿はほほえましささえ感じます。基本的な生活習慣の定着のための取組もねばり強く実施しています。

課題もまだまだたくさんありますが、「子どもが元気・先生が元気・学校が元気」を合い言葉に、地域や保護者の皆様に見守られながら平成19年度を無事終えることができました。

